

2021年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年8月7日
東

上場会社名 株式会社ミクシィ 上場取引所
コード番号 2121 URL <https://mixi.co.jp/>
代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 木村 弘毅
問合せ先責任者(役職名) 取締役 CFO (氏名) 大澤 弘之 (TEL) 03-6897-9500
四半期報告書提出予定日 2020年8月11日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・証券アナリスト向け電話会議)

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第1四半期の連結業績(2020年4月1日~2020年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		EBITDA※		営業利益		経常利益		親会社株主に 帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第1四半期	29,360	41.3	8,494	324.1	7,478	370.0	7,352	348.9	4,891	340.4
2020年3月期第1四半期	20,780	△39.9	2,003	△82.2	1,591	△85.6	1,637	△85.1	1,110	△84.8

※EBITDA=減価償却費及びのれん償却額を考慮しない営業利益ベースの数値

(注) 包括利益 2021年3月期第1四半期 4,968百万円(403.0%) 2020年3月期第1四半期 987百万円(△87.0%)

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
2021年3月期第1四半期	64	92	64	31
2020年3月期第1四半期	14	74	14	68

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
2021年3月期第1四半期	百万円 203,491	百万円 181,610	% 88.7
2020年3月期	199,978	180,938	90.0

(参考) 自己資本 2021年3月期第1四半期 180,577百万円 2020年3月期 179,901百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2020年3月期	円 銭 —	円 銭 55.00	円 銭 —	円 銭 55.00	円 銭 110.00
2021年3月期(予想)	—	55.00	—	55.00	110.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日~2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		EBITDA		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	105,000	△6.4	18,000	△10.3	14,000	△18.4	14,000	△17.3	8,500	△20.7	112.81

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2021年3月期1Q	78,230,850株	2020年3月期	78,230,850株
② 期末自己株式数	2021年3月期1Q	2,881,300株	2020年3月期	2,881,300株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2021年3月期1Q	75,349,550株	2020年3月期1Q	75,349,550株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- 本資料の業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき当社において判断した見通しであり、潜在的なリスクや不確実性を含んでおります。実際の業績は、様々な要因の変化により、これらを業績見通しとは異なる結果となることをご承知の上、投資判断を下される様お願い致します。業績予想の前提となる仮定等につきましては、四半期決算短信 (添付資料) P. 3 「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。
- 当社は、2020年8月7日に機関投資家及び証券アナリスト向けの電話会議を開催する予定です。その説明会資料については、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
(重要な後発事象)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)	前年同四半期比 増減率
売上高(百万円)	20,780	29,360	41.3%
EBITDA(百万円)	2,003	8,494	324.1%
営業利益(百万円)	1,591	7,478	370.0%
経常利益(百万円)	1,637	7,352	348.9%
親会社株主に帰属する四半 期純利益(百万円)	1,110	4,891	340.4%

当第1四半期連結累計期間の売上高は29,360百万円(前年同四半期比41.3%増)となりました。また、EBITDAは8,494百万円(前年同四半期比324.1%増)、営業利益は7,478百万円(前年同四半期比370.0%増)、経常利益は7,352百万円(前年同四半期比348.9%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は4,891百万円(前年同四半期比340.4%増)となりました。

なお、2019年2月28日に行われた株式会社チャリ・ロトとの企業結合について前第1四半期連結累計期間において暫定的な会計処理を行っていましたが、前第3四半期連結会計期間に資産・負債への取得原価の配分が完了しております。これに伴い、遡及修正後の数値を用いて比較分析を行っております。

セグメントごとの業績は次のとおりであります。

当第1四半期連結会計期間から、報告セグメントの名称及び区分方法を変更しており、以下の前年同四半期比較及び分析については、変更後の区分に基づいて記載しております。

また、事業セグメントの利益の測定方法は、減価償却費及びのれん償却額を考慮しない営業利益ベースの数値(EBITDA)としております。

① デジタルエンターテインメント事業

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)	前年同四半期比 増減率
売上高(百万円)	19,376	25,997	34.2%
セグメント利益(百万円)	4,519	12,482	176.2%

デジタルエンターテインメント事業は、スマートフォンネイティブゲーム「モンスターストライク」を主力として収益を上げております。「モンスターストライク」の売上高は、有力IPとのコラボや「劇場版モンスターストライク」とのメディアミックス連携などが功を奏し、前第1四半期連結累計期間と比較して増加しております。加えて、スマートフォンネイティブゲーム「コトダマン」の売上も順調に拡大しており、「モンスターストライク」以外のサービスの収益化も進んでおります。

この結果、当事業の売上高は25,997百万円(前年同四半期比34.2%増)、セグメント利益は12,482百万円(前年同四半期比176.2%増)となりました。

② スポーツ事業

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)	前年同四半期比 増減率
売上高(百万円)	593	2,384	301.7%
セグメント損失(△)(百万 円)	△553	△1,020	—%

スポーツ事業では、プロスポーツチーム経営、公営競技関連事業への投資を行っております。連結子会社である株式会社チャリ・ロトの事業成長や、株式会社ネットドリーマーズを子会社化した影響で前第1四半期連結累計期間と比較して売上高が増加しております。一方、2020年6月にスポーツベッティングサービス「TIPSTAR」をリリースし、開発に要したコストをその他流動資産から費用に振り替えたことにより一時的に費用が増加しております。

この結果、当事業の売上高は2,384百万円(前年同四半期比301.7%増)、セグメント損失は1,020百万円(前年同四半期はセグメント損失553百万円)となりました。

③ ライフスタイル事業

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)	前年同四半期比 増減率
売上高(百万円)	810	977	20.6%
セグメント損失(△)(百万円)	△272	△306	－%

ライフスタイル事業では、SNS「mixi」、家族向け写真・動画共有アプリ「家族アルバム みてね」、サロンスタッフ直接予約アプリ「minimo」を中心に各種サービスを運営しております。「家族アルバム みてね」はマネタイズの強化を推進しており、株式会社スフィダンテと連携したギフトサービスを新たに展開するなど、売上高は前第1四半期連結累計期間と比較して増加しております。

この結果、当事業の売上高は977百万円（前年同四半期比20.6%増）、セグメント損失は306百万円（前年同四半期はセグメント損失272百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 財政状態

当第1四半期連結会計期間の財政状態は、資産については流動資産が148,782百万円（前連結会計年度末比2,662百万円増加）となり、主なる要因としては、売上債権の減少及び税金等調整前当期純利益による資金の増加があげられます。固定資産は54,709百万円（前連結会計年度末比849百万円増加）となっております。

負債については、流動負債が16,751百万円（前連結会計年度末比2,991百万円増加）となり、主なる要因としては、未払法人税等及び未払消費税等の増加があげられます。純資産は181,610百万円（前連結会計年度末比671百万円増加）となり、主なる要因としては、利益剰余金の増加があげられます。

② キャッシュ・フローの状況の分析

当第1四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という）の残高は、前連結会計年度末と比べて6,691百万円増加し、132,118百万円となりました。各キャッシュ・フローの状況とその要因は以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第1四半期連結累計期間において営業活動により獲得した資金は12,748百万円（前年同四半期は2,322百万円の獲得）となりました。これは主に、売上債権の減少が1,729百万円及び税金等調整前四半期純利益が7,242百万円となったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第1四半期連結累計期間において投資活動により使用した資金は2,484百万円（前年同四半期は4,418百万円の使用）となりました。これは主に、投資有価証券の取得による支出1,354百万円及び敷金及び保証金の差入による支出1,006百万円があったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第1四半期連結累計期間において財務活動により使用した資金は3,568百万円（前年同四半期は3,922百万円の使用）となりました。これは主に、配当金の支払3,664百万円があったことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期の連結業績予想につきましては、本日公表いたしました「通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	125,427	132,118
受取手形及び売掛金	14,254	12,523
商品	256	210
未収消費税等	1,248	—
その他	4,977	3,970
貸倒引当金	△44	△41
流動資産合計	146,119	148,782
固定資産		
有形固定資産	10,338	10,072
無形固定資産		
顧客関連資産	2,536	2,463
のれん	17,315	16,904
その他	2,658	2,591
無形固定資産合計	22,510	21,959
投資その他の資産		
投資有価証券	9,917	11,287
繰延税金資産	6,179	5,591
その他	4,915	5,801
貸倒引当金	△2	△2
投資その他の資産合計	21,009	22,677
固定資産合計	53,859	54,709
資産合計	199,978	203,491
負債の部		
流動負債		
短期借入金	671	993
未払金	8,186	7,644
未払法人税等	124	2,040
未払消費税等	—	1,101
賞与引当金	1,262	429
その他	3,515	4,542
流動負債合計	13,759	16,751
固定負債		
長期借入金	2,952	2,894
繰延税金負債	949	914
その他	1,379	1,319
固定負債合計	5,280	5,129
負債合計	19,040	21,881
純資産の部		
株主資本		
資本金	9,698	9,698
資本剰余金	9,472	9,324
利益剰余金	171,103	171,851
自己株式	△10,905	△10,905
株主資本合計	179,369	179,968
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	330	416
為替換算調整勘定	201	193
その他の包括利益累計額合計	532	609
新株予約権	971	987
非支配株主持分	65	44
純資産合計	180,938	181,610
負債純資産合計	199,978	203,491

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年6月30日)
売上高	20,780	29,360
売上原価	4,511	6,866
売上総利益	16,268	22,494
販売費及び一般管理費	14,677	15,015
営業利益	1,591	7,478
営業外収益		
受取利息	0	0
為替差益	5	2
その他	161	85
営業外収益合計	166	87
営業外費用		
支払利息	1	3
投資事業組合運用損	81	65
支払手数料	—	1
その他	36	143
営業外費用合計	119	214
経常利益	1,637	7,352
特別利益		
固定資産売却益	0	—
特別利益合計	0	—
特別損失		
特別退職金	—	100
固定資産除売却損	17	0
減損損失	5	—
賃貸借契約解約損	—	9
特別損失合計	22	110
税金等調整前四半期純利益	1,615	7,242
法人税、住民税及び事業税	198	1,835
法人税等調整額	306	514
法人税等合計	505	2,350
四半期純利益	1,110	4,891
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△0	△0
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,110	4,891

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
四半期純利益	1,110	4,891
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△96	85
為替換算調整勘定	△26	△8
その他の包括利益合計	△122	77
四半期包括利益	987	4,968
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	987	4,968
非支配株主に係る四半期包括利益	△0	△0

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,615	7,242
減価償却費	222	357
無形固定資産償却費	118	247
減損損失	5	—
のれん償却額	70	411
貸倒引当金の増減額(△は減少)	1	△3
賞与引当金の増減額(△は減少)	△533	△832
受取利息	△0	△0
支払利息	1	3
為替差損益(△は益)	6	△2
投資事業組合運用損益(△は益)	81	65
固定資産除売却損益(△は益)	16	0
たな卸資産の増減額(△は増加)	32	46
売上債権の増減額(△は増加)	456	1,729
未払金の増減額(△は減少)	△2,987	△640
未払消費税等の増減額(△は減少)	477	1,101
その他	3,126	3,123
小計	2,714	12,850
利息の受取額	4	35
利息の支払額	—	△3
法人税等の支払額	△395	△134
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,322	12,748
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△569	△213
無形固定資産の取得による支出	△64	△211
無形固定資産の売却による収入	—	43
投資有価証券の取得による支出	△1,237	△1,354
投資有価証券の分配による収入	50	38
差入保証金の差入による支出	△107	△1,006
事業譲受による支出	△1,030	—
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△1,469	—
その他	10	219
投資活動によるキャッシュ・フロー	△4,418	△2,484
財務活動によるキャッシュ・フロー		
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	—	△177
短期借入金の純増減額(△は減少)	70	350
長期借入金の返済による支出	—	△85
配当金の支払額	△3,992	△3,664
その他	—	7
財務活動によるキャッシュ・フロー	△3,922	△3,568
現金及び現金同等物に係る換算差額	△6	△4
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△6,024	6,691
現金及び現金同等物の期首残高	144,417	125,427
現金及び現金同等物の四半期末残高	138,393	132,118

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前題に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

前第1四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	デジタルエン ターテインメ ント事業	スポーツ事業	ライフス タイル事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	19,376	593	810	20,780	—	20,780
セグメント間の内部売上 高又は振替高	0	—	—	0	△0	—
計	19,376	593	810	20,780	△0	20,780
セグメント利益又は損失 (△)	4,519	△553	△272	3,692	△2,101	1,591
その他の項目						
減価償却費	87	111	8	207	133	341
のれん償却額	—	70	—	70	—	70

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△2,101百万円には、報告セグメントの減価償却費△207百万円及びのれん償却額△70百万円、並びに各セグメントに配分していない全社費用△1,823百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない管理部門の費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

前第1四半期連結累計期間において、連結子会社である株式会社チャリ・ロトの暫定的に算出されたのれん償却額97百万円を計上しておりましたが、前第3四半期連結会計期間に取得原価の配分が完了し、暫定的な会計処理が確定したことにより、「スポーツ事業」の報告セグメントにおいて、減価償却費111百万円及びのれん償却額70百万円に修正しております。

当第1四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	デジタルエン ターテインメ ント事業	スポーツ事業	ライフス タイル事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	25,997	2,384	977	29,360	—	29,360
セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	25,997	2,384	977	29,360	—	29,360
セグメント利益又は損失 (△)	12,482	△1,020	△306	11,155	△3,676	7,478
その他の項目						
減価償却費	105	181	63	350	254	604
のれん償却額	—	379	31	411	—	411

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△3,676百万円には、報告セグメントの減価償却費△350百万円及びのれん償却額△411百万円並びに各セグメントに配分していない全社費用△2,914百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない管理部門の費用であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

当社グループは当第1四半期連結会計期間から、事業ポートフォリオの変化に合わせた事業ドメインの定義を行ったため、報告セグメントの名称及び区分方法を以下のとおりに変更しております。

従来「エンターテインメント事業」「ライフスタイル事業」としておりましたセグメントの名称及び区分方法を、当第1四半期連結会計期間から「デジタルエンターテインメント事業」「スポーツ事業」「ライフスタイル事業」に変更しております。従来「エンターテインメント事業」に属していた連結子会社のうち5社を「スポーツ事業」に区分しております。なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報は、当第1四半期連結累計期間の報告セグメントの区分に基づいて記載しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

(新株予約権(ストックオプション)の付与)

当社は、2020年6月26日開催の取締役会において決議した、当社の取締役及び執行役員に対して発行する新株予約権(ストックオプション)について、2020年7月13日に以下のとおり付与しました。

1. 新株予約権の割当対象者及びその人数並びに割り当てる新株予約権の数

対象者	人数	新株予約権
当社取締役(社外取締役を除く)	5名	2,855個
当社執行役員	5名	335個
計	10名	3,190個

2. 新株予約権の総数

3,190個(新株予約権1個当たりの目的となる株式数100株)

上記総数は、割当数の上限であり、引受けの申込みがなされなかった場合等、割り当てる新株予約権の総数が減少した場合は、割り当てる新株予約権の総数をもって発行する新株予約権の総数とする。

3. 新株予約権の目的となる株式の種類及び数

当社普通株式 319,000株

4. 新株予約権の払込金額

金銭の払込みを要しないものとする。

5. 割当日

2020年7月13日

6. 新株予約権の行使に際して出資される財産の価額

各新株予約権を行使することにより交付を受けることができる株式1株当たりの払込金額を1円とする。

7. 新株予約権の権利行使期間

対象者	権利行使期間
当社取締役(社外取締役を除く)	2020年7月14日～2050年7月13日
当社執行役員	2021年7月14日～2026年7月13日

(連結子会社の設立)

当社は、2020年8月7日開催の取締役会において、以下のとおり子会社を設立することを決議いたしました。なお、当該子会社の資本金は、当社の資本金の額の100分の10以上に相当するため、当社の特定子会社に該当いたします。

1. 子会社設立の目的

当社は、「エンタメ×テクノロジーの力で、世界のコミュニケーションを豊かに」を中期経営方針に掲げております。

投資活動を通じて様々なライブエンターテインメント分野のデジタルトランスフォーメーションを推進し、当社としても投資先との協業等による同分野での新事業創出を目指して設立することといたしました。

2. 子会社の概要

- (1) 名 称 ミクシィエンターテインメントファンド1号投資事業有限責任組合(予定)
- (2) 所 在 地 東京都渋谷区
- (3) 事業内容 エンターテインメント分野のスタートアップ企業等への投資
- (4) 資 本 金 3,000百万円
- (5) 設立時期 2020年10月(予定)
- (6) 出資比率 当社100%